

「市民が真ん中懇談会」実施状況

日時 令和4年8月21日(日) 10時～15時

第1部

市民が真ん中懇談会 10:00～11:40

「今治市の施策 i.i.imabari!を考える」について 話し合う
みなと交流センター「はーぱりー」大ホール

テーマ1

「今治のイケてるところ。イケてないところ、どうすればもっと好きになれるか。」

- ・市外の方でも今治といえば、今治タオルと言ってくれる。こんな市は他にあまりない素晴らしいこと。
- ・文化・芸術や歴史はそのまちにしかない。文化芸術イベントに力点を置けばどうか。
- ・今治の知っているところは「好き」、知らないから「嫌い」につながる。今治をもっとPRして知ってもらって、様々な交流をすることが必要。
- ・市内の人は今治には何もないというが、市外の人が今治を見たら、「はーぱりー」や「鈍川の景観」は素晴らしい。「海岸」や「鈍川」は3時間、4時間でも居られる。インスタなどに「川のせせらぎ」のみなどでも、魅力的に感じるので情報発信してみればどうか。
- ・おまつり好きな自分は、おんまく、よさこいなどいろんなおまつりに参加できるようなツアーなどあればいいと思う。

テーマ2

「魅力を発信する方法について」

- ・若者はみんなスマホ。今治の情報をネットにアップして世界発信してはどうか。
- ・今治の魅力の発信者は、市民の誰もが発信者にもなっている。誰もが知っているものでも、入り口が分かりにくく何をどう発信しているのか。例えば造船にしても、何をどうアピールしたら良いのか分からない。
- ・市外の人に「今治ワクワクミリオク 100名鑑」見せたら素晴らしいとのこと。もっとこの冊子をPRして今治のことを発信してはどうか。現在は、ラッピングエレベーター、地図情報にも取り組む。
- ・市外から来た人をご案内する際、このお店は何時まで、風呂は何時までといった情報を知らないため、どのルートで楽しんでもらうのか、動線がうまく結びつかず、案内できない。
- ・イベントなどの情報発信だけでなく、魅力ある人の発信も大切。
- ・「もの」の発信にとらわれず、ここにいて、作っている「人」を発信していくのも良いと思う。
- ・マイノリティ、例えば商店街はさびれているが、その昭和感が好きな人もいる。すべての人にウケるものでなくても、ファン、本質を分かってくれる人、マイノリティを集めて情報発信をするのもいいと思う。
- ・I'm into ○○を作り、それぞれの好きな事を入れれたらいい。

全体にウケることではなくて、コアなところに届くような発信。

(例)I'm into 村上海賊

- ・菊間瓦は 750 年続いている。地域のいいもの、歴史、伝統は良いから残っているものと思うので、これらを自信をもって、価値を上げて発信することが大切。
- ・風景の中に地域性を感じる。そういったものを発信したら良い。
- ・情報発信の手段が多くある。世代によっても使うものが違う。若い子はネット YouTube や TikTok を多く使っているので、市としても真剣に取り組んでみてはどうか。
- ・また、グーグルでは、地図上から欲しい情報を得られる機能がある。そういったものも活用してみてもどうか。
- ・タオルやみかんの価値を逆輸入されて知った。外向きのブランディングも大切だが、内向きブランディングも大事。そうすれば、市民が価値を発信していく。学校で子どもたちに教えるのが、早い。
- ・尾道のように、古いものに価値を見いだした街なかになると良いと思う。

第 1 部 おわりに市長から

- ・熱を持った方がしっかりと発信ができる組織も個人も育てていく必要がある。
- ・ネットから簡単に情報をとることができる中、どれだけ尖った情報、適切な情報を流していけるのかを考えると、地域の思いを持った方や組織がしっかりと情報発信していけるような取り組みが必要。
- ・外国の方を市のサービスの中に組み込むことが多様性につながる。
- ・まだ知らないことを色んなかたちでアウトプットしていきたい。必要な方に情報をしっかり届けるようにしていく必要がある。
- ・アイアイのマークを世界的に有名な丹下健三さん設計の今治市役所の外観に飾る斬新なアイデアも検討している。視覚からアイアイ今治と思ってもらうことも必要。
- ・今治は、全国の自治体の中でいろんなコンテンツや資源があり日本一と考えている。みなさんと一緒に日本一のまちにしていきたいと思う。アイアイ今治のマークをそのシンボルにしていればと考えている。

昼食・見学 来島海峡サービスエリア 12:00 ~ 13:10

第 2 部 サイクルシップクルージング 13:30 ~ 15:00

行程 下田水港発 ~ 馬島上陸 ~ 今治港着

船での観光、またサイクリングと船を組み合わせた新たな観光の魅力を市民に知ってもらうため、サイクルシップでクルージングを行いました。

参加の皆さまから ご感想

- ・活発な意見交換ができた。予定を押してしまったが、まだまだ意見交換してもいいくらい、時間が足りないように感じた。
- ・参加者からより意見を引き出す・参加者同士で交流を持つ→参加者同士で3チームに分かれて、チームでブレストや出た意見への感想等を話し合い、それを最後に発表する→参加者が交流を持ったことで、その後のツアーもより盛り上がると思う。
- ・様々な視点からの意見が聞けて、とても勉強になった。意見交換が出来る場がもっと増えればいいのに、と思う。
- ・ちょっと距離があったか？本当は参加者内での意見交換があれば良かったが雰囲気的にちょっと難しかったかもしれない。
- ・自分が普段関わらない分野の方と出会え関わり合えるのが良かった。
- ・全体での自己紹介後に3~4名程度のグループワークをし、その後に全体発表などの流れにするとより濃い内容で交流ができるように思う。
- ・ポジティブな気持ちで話合うことのできる内容だった。
- ・あたたかみのあるツアーで、感動した。
- ・魅力発見ツアーはとても楽しく非常に満足した。
- ・また参加したいと思った。